わくわくえがお

2019年8月1日
第10号

＜発行元・お問い合わせ＞
社会福祉法人
名古屋キリスト教社会館
〒464-0032
名古屋市千種区猫洞通1-15
東部地域療育センターぽけっと
TEL 052-782-3388
〒463-0053
名古屋市守山区小幡千代田24-17
発達センターちよだ
TEL 052-792-7277
発行責任者　加藤 淳

ぽけっと・ちよだの年長さん
みんなで苗植えと毎日の水やり頑張ったよ！

地域とのつながりの中で

顔の見える関係づくりを大切に

〝発達センターぽけっと〟が千種区で五年、そして〝東部地域療育センターちよだ〟が守山区で一六年、福祉・医療の事業に関わらせてもらってきました。この間、いろいろな子どもやご家族との出会いがありました。うれしいこともあり、壁にぶつかったくさんありますが、自分たちの限界をることもあり、自分たちの限界を感じるばかりです。そんなとき、地域の方々や関係機関の方々にたくさん力を貸していただきました。

ぽけっとが開設し、ちよだと共に力を合わせながら、この数年で千種区・守山区・名東区内で、様々な関係機関との協働で連絡会や交流会などが形になり、ぽけっとやちよだのことをお伝えする機会にもなりました。それだけではなく、自分たちだけでは気付けない地域の現状やご意見を聞かせていただくことができるなど、私たちにとっては学びの場にもなっていると感じています。

日々の関わりの中でどの機関も、どの方々も子どもやご家族のために少しでも力になれたらと本当に一生懸命取り組んでみえることを知ることができます。

一方で、少し視点が違ったり、人を介しての情報だと違って伝わったりすることもあります。そんな時、直接お会いして意見交換をさせていただくことで真意が伝わり、方向性が見えてくることにもつながります。直接顔の見える関係を作っていくことの大切さを実感しています。

待機期間の不安軽減に新たな事業

ぽけっとも五年が過ぎ、「療育センター」のことを多くの方々に知っていただけるようになっています。しかし多くの連絡をいただいても、なかなかタイムリーにご相談にのれない、対応ができない現状があることも事実です。〝初診〟のために来所するまでに三～五か月待っていただかなくてはいけない状況があります。全国的にもそのことは大きな懸案事項になってきています。名古屋市では、育ちや子育てが心配な親子に対して、相談につながるまでの待機期間の不安を少しでも解消できるように、新たな事業の検討を開始してきています。その委託を受け、ぽけっとでは今年度後半から新たな『相談の事業』を行うことになっています。まだまだ試行錯誤しながらの実施になると思いますが、少しでも子どもさんや親御さんの不安の軽減につながるものになれたらと思っています。

ちよだやぽけっとでは「おまつり」や「催し」を開催しています。地域の皆さんに出演頂いたりお店を出店していただいて内容をつくり、たくさんの皆さんにご参加いただいています。ちよだやぽけっとのことを知ってもらう機会になっていることをうれしく思ってます。

これからも地域の皆様や関係機関の皆様といっしょに、子どもやご家族の笑顔のための働きに努めていきます。今後ともご支援ご協力よろしくお願いいたします。

文責　松澤 裕美子
（ぽけっと相談診療部部長）

地域の方よりご寄贈、ご寄付を頂きました。ご協力頂いております方々を掲載し報告とお礼とさせて頂きます。

日比野　様
ビオマルシェ様
福住　様

ご支援ご協力
ありがとうございました。

発達センターちよだ

通園待機の親子の居場所として

デイサービスちよだ「つくしんぼ組」は、児童発達支援センターへの入園を希望したにもかかわらず、入園できず待機となってしまった二歳児を中心に、今年度七組の親子が週二回利用しています。

つくしんぼ組では大好きなお母さんと一緒にたっぷりあそぶ中で、子どもたちは好きなあそび、楽しいあそびをたくさん見つけます。お母さんはお子さんと楽しくかかわる経験や子育ての中での悩み、困りごとを保育者やお母さん同士で話しあうこと、交流を深めることを大切にしています。

子どもたちは絵本の読み聞かせや堤防での芝坂すべりが楽しくなり、クラスのお友だちみんなとの時間やお母さんとたっぷり触れ合ってあそぶことも楽しくなってきました。

初めてのあそびにはドキドキの子どもたちですが、お母さんと一緒にあそぶことで“これはなんだろう？”と注目する姿や、“やってみたい”と手を伸ばしてあそぶ姿が増えてきました。

「前回は泣けちゃったけど、自分から握ってるね」「こういう風に関わったら楽しめたね」とお母さんと一緒に子どもたちの姿を振り返りながら関わり方を考え合い、お母さんと一緒に楽しくあそぶ場面が広がっています。

最近は新聞紙あそびが楽しくなってきました。部屋いっぱいにちぎった新聞を降らせたり、ゴロンと横になってあそんだり、保育者と掛け合って、笑顔いっぱいです。最初はやったことのないあそびでドキドキして泣けてしまうこともありましたが、お母さんや保育者が楽しそうにあそぶ雰囲気や、くり返しあそびこむことを通して、“やりたーい”と自分から触れてあそぶ姿が増え、少しずつおもしろさが広がっています。

生活の中でも“お友だちと一緒”を大切にしながら、トイレでは向かい合っておまるに座ったり、給食も賑やかな雰囲気のなかで食べる楽しさが膨らんでいます。これからも保育者、お母さん、お友だちみんな一緒に楽しく生活し、あそぶなかで、子どもたちの力を膨らませていきたいと思っています。

文責　鈴木絵莉（児童指導員）

ぽけっと相談診療部

子育てを応援する場所として

「療育グループ」という言葉を初めて聞く方もいらっしゃると思います。

療育グループ（以下、グループ）は育ちに不安のあるお子さんとその親御さんを対象に、あそびを通して、お子さんの発達を促すとともに、かかわり方のヒントを見つけていく場所です。主には就園前のお子さんが対象です。

グループへのつながり方は様々です。保健センターの一歳半健診や三歳児健診を受けて紹介された方、ご自身がインターネットで調べて電話をかけてこられた方、病院を受診して紹介された方、知人から教えてもらってつながった方などです。

「言葉が遅い」「かんしゃくを起こすと、どう対応したらいいかわからない」・・・子育ての悩みや不安は様々です。その悩みがすぐにすっきりしたり解決したりはしませんが、私たち職員は気軽にお話ししていただけることを心がけています。

グループでの活動では、親子でのふれあいあそび、感触あそびや身体をつかったあそびなどを通して、子どもが好きなあそびを見つけることを大切にしています。〝楽しい〟〝もう一回〟という気持ちを大人に伝える姿や〝やってみようかな〟〝いやだよ〟という気持ちを表現する姿など、子ども達の姿を親御さんと共にとらえあっています。

週一回の親子教室ですが、通う中で子ども達は経験を積み重ねていきます。その中で変わってきている子どもの成長を親御さんと捉えうことを大切にしています。

また、なかなか周囲には話せなかった悩みや思いを共有し、共感することで親御さん同士のつながりができ、笑顔や元気が広がっています。就園前の子どもさんを対象に、次年度の進路の相談もします。就学までの三年間をどんな園で経験を積み重ねていけるといいか、親御さんは悩みながら選んでいきます。その際に、職員と話をしながら親御さん自身が選んでいきます。

私たち職員は、親御さんが子育てに少しでも楽しく元気に向かっていけるよう、応援をしていけたらと思っています。

文責　石井真理子（保育士）

絵本紹介コーナー！

『あっちゃんあがつく　たべものあいうえお』

原案：みねよう　作：さいとうしのぶ
出版社：リーブル

“あっちゃんあがつく　あいすくりーむ”のフレーズで始まる、おいしそうな食べ物がたくさん描かれたことばあそび絵本です。1ページずつ物語があり、「このソフトクリーム足がある！転んでいる！」と、子ども達は読むたびに新たな発見を教えてくれます。「ぼくの名前の文字は何の食べ物かな？」、子ども達の自由な楽しみ方には感心するばかり。心地よいリズムに乗りながら読んでいくと、発音や読み書きの基礎となる音韻にふれる機会にも。

文責　髙木香織（ぽけっと言語聴覚士）

第１７回発達センターちよだ
なつまつり
食べ物コーナー
たのしいゲーム
ステージ企画
2019年8月25日（日）
17：00~19：30
会場/発達センターちよだ園庭
（守山区小幡千代田24-17　TEL052-792-7277）
どちらも毎年恒例のもちまきがあるよ！

名古屋ライトハウス緑風
＆東部地域療育センターぽけっとのお祭り
緑ぽけまつり
楽しいステージ
愛知中・高校吹奏楽部
ファンタスティックワールド（大道芸）
和太鼓ぽんぽこ
チアリーディング
エイサー
ゲームコーナー
美味しい食べ物
2019年9月14日（土）
16：30~19：00
会場/東部地域療育センターぽけっと
（千種区猫洞通1-15　TEL052-782-3388）

ボランティア募集！！
保育ボラ
行事ボラ
きょうだいさんの託児
など
お気軽に問い合わせ下さい！
発達センターちよだ　052-792-7277
東部地域療育センターぽけっと　052-782-3388
内容・時間等ご相談下さい！